

# 諸物価高騰のいまこそ固定費見直して こくみん共済COOPの『マイカー共済』へ。 非営利ならではの納得掛金と手厚い 補償で賢い自動車保険選び

物価高が家計を直撃するなか、車を所有する多くの家庭にとって『自動車保険料』の見直しが課題となっている。そうした中、民間損保から、こくみん共済COOPが提供する『マイカー共済』へと切り替える人が増えている。大手損害保険会社の自動車保険と肩を並べる充実した補償内容を備えながら、非営利組織だからこそ実現できるお手頃な掛金と独自の割引制度が話題だ。車検や満期を機にいま『マイカー共済』へ見直すべき理由を探った。

最大22等級・65%割引！無事故ドライバーほど得をする 家族みんなを守る多彩な特約

マイカー共済の最大の強みは、営利を目的としない『助け合い』の仕組みによる圧倒的なコストパフォーマンスだ。家族のライフスタイルの変化に合わせて無駄なく補償を追加できる点も、多くのドライバーから選ばれて

いる理由だ。特に同居・別居の子どもが免許を取得した世帯で絶大な効果を発揮するのが『子ども特約』だ。通常、若年層のドライバーを補償に加えると全体の保険料が大幅に跳ね上がるが、この特約を活用すれば契約の年齢条件を変更せず、最小限の追加掛金で子どもが運転中の事故をカバーできる。

また、自転車事故への賠償責任が義務化される地域が増えるなか、家族全員の自転車事故に備えられる『自転車賠償責任補償特約』も完備。マイカーだけでなく、ご家庭全体の日常の『もしも』を一括でカバーできる。

24時間365日無料ロードサービスと迅速な事故対応で万が一も安心

『掛金が手頃だと、事故時のサポートが不安』という心配も無用だ。対人・対物賠償は当然『無制限』。相手車両の修理費が時価を超えた場合の費用をカバーする『対物超過修理費用補償』も標準付帯されるなど、事故相手への補償も抜かりはない。さらに、レッカー搬送(100キロまで無料)やバッテリー上がりなどの現場トラブルに迅速に駆けつける24時間365日対応のロードサービスも無料で付帯されている(※ロードサービスのみの利用は翌年の等級に影響しない)。スマートフォンアプリを使えば、GPS機能で事故現場や動かすことができない車のある位置を簡単に連携で

## こくみん共済 COOP

全国労働者共済生活協同組合連合会

### リレー随筆 関東だより スポーツの秋



ゴルフでは、ベストスコア更新！今年の抱負は「ベリ返ししてくれた秋になりました。

みなさんの秋は？スポーツ、グルメ、紅葉狩り、読書など、過ごし方はいろいろです。みなさんも「今年の秋」を堪能していることと思います。最前線で執行されている全国の執行部のみなさん、組合員の皆さんしっかり英気を養っていただき、これから本格的にはじまる26冬季一時金交渉が

お疲れ様です。教宣部の石原です。全国の皆さん、どんな秋をお過ごしですか？十月も半ばを過ぎ、日本列島は地域ごとにもったく違秋を迎えていることと思います。関東の拠点より、私の「スポーツの秋」をご報告します。

野球観戦は、悔しい結果に！今年は野球観戦を大いに楽しめました。ところが、応援していたジャイアンツはクライマックスシリーズのファーストステージで敗退。悔しい気持ちはありませんが、来シーズンの巻き返に期待したいと思いま



ストスコア更新」で、目標は95でした。これまでのベストは97。それがこの秋、なんと94が出ました！自己ベストを3打縮め、目標だった95も上回る結果です。ジャイアンツの悔しさを、ゴルフの喜びがしっかりと取り返してくれた秋になりました。

### ドックランズ その4



4部に分けて掲載したドックランズ博物館も今月号で最後となります。

今回は主に第二次世界大戦期のロンドンの歴史についてふれます。

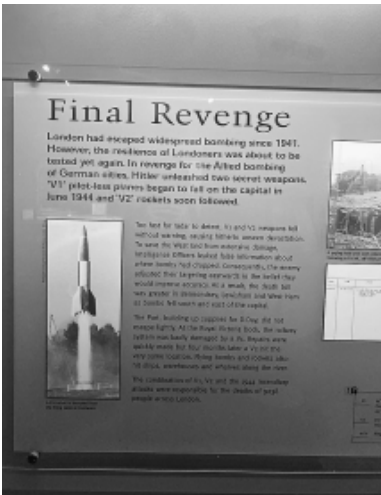
ブラックサターと聞くと各々思いつく出来事は異なると思います。キューバ、オーストラリア、またはタイにおけるそれがありますが、今回はロンドンでの悲劇の話です。

### 炉辺談話



1940年9月7日ドイツ空軍による大規模な空襲がロンドンを襲った。

この爆撃は、重傷者1600人、死傷者430人というロンドン市民にとって忘れることが出来ない惨劇を招いた。空襲の作業は続けられた。戦阻塞気球と呼ばれ、読ん



世界大戦期に使用されたケーブルで係留された気球です。飛行機による低空からの攻撃を防ぐために配備された。

有事の際、標的となる拠点は時代が変わったとしても変わっていない現実があります。これは現代も世界で続く紛争の二ユースを見れば一目瞭然です。

日本においては、2026年4月に新たに追加された港を含めて全国合計で33港が特定利用港湾に指定されました。職場の安全を危惧する事は至極真っ当なことであると

考えています。

長く続いたドックランズ編も今回で最後となります。

港湾の現場での己の経験を振り返り、中盤ではうろ覚えの世界史を思い出しながら、ロンドン港における労働運動の歴史を学びました。そして最後には戦争の歴史。私にとって再度ロンドンを訪れる機会があれば立ち寄りた博物館の1つとなりました。